

資料

感染症発生動向調査事業におけるウイルス検査結果（2004年）

石橋哲也，江藤良樹，梶原淳睦，世良暢之，千々和勝己

感染症発生動向調査事業における病原体情報の一環として，2004年は県内16カ所の病原体定点医療機関から305件の検査材料が搬入された。主な疾病は，インフルエンザ様疾患，感染性胃腸炎，無菌性髄膜炎，手足口病，ヘルパンギーナであり，それぞれの検体について検査を行ったところ各種ウイルスが分離された。

[キーワード：感染症発生動向調査事業，病原体情報，ウイルス分離]

1 はじめに

感染症発生動向調査事業は，「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき，感染症の発生を予防し，そのまん延の防止を図ることを目的に実施されている。当課では，同事業のうち，病原体情報の提供を担当して，県内（福岡市，北九州市を除く）の病原体定点医療機関において採取された検査材料について，ウイルス検査を行っている。ここでは，2004年の検査結果について示す。

2 方法

県内16カ所の病原体定点医療機関で採取され，保健福祉環境事務所により搬入された糞便，咽頭ぬぐい液，髄液等の検体305件をウイルス検査材料とした。ウイルス分離は，Vero，FL，RD18s，HEp-2，MDCKの5種類の培養細胞と，生後48時間内の乳のみマウスを用いて行った。分離ウイルスは，中和血清を用いた同定を行ったが，同定困難な場合にはRT-PCR法及び塩基配列の決定による同定も試みた。また，感染性胃腸炎に関しては，市販イムノクロマト法キットによるロタ・アデノウイルス抗原の検出とRT-PCR法によるノロウイルス遺伝子の検出を行った。

3 結果及び考察

搬入検体とそのウイルス分離状況を表1に示した。搬入された検体は11疾病305件で搬入検体数は昨年の293件とほぼ同等であった。臨床診断名ごとに見ると，インフルエンザ様疾患が118検体で最も多く，前年に比べ約1.5倍に増加した。次いで感染性胃腸炎が38件搬入された。

過去5年間の主な疾病ごとの定点あたりの患者報告数とウイルス型を図1-4に示した。患者報告数は，福岡県結核・感染症発生動向調査事業資料集平成16年（2004年）に基づいて図示した。2004年の特徴を示すと，インフルエンザ様疾患の46件からA/H3型が分離され，B型は1件からのみであった。また，無菌性髄膜炎の病原ウイルスは，前シーズンのコクサッキー（Cox）B群ウイルスからエコーウイルス18型，7型に変化していた。しかし，患者発生数は前年と同じく小規模であった。ヘルパンギーナからは，CoxA4型が主に分離され，前年のCoxA10型から主流株が変化していた。手足口病については，平年並みの流行ではあったが，通常流行のピークが6-7月にはつきり現れるのに対し，本年は6月に患者報告数が上昇した後，ほぼ一定のレベルで10月まで維持されたことが特徴としてあげられる。分離されたのは，CoxA16型のみで，前年分離されたエンテロウイルス71型は分離されなかった。

表1 感染症発生動向調査検査結果

疾病名	採取月	件数	検査材料	検査結果	検査材料	分離ウイルス	株数
インフルエンザ	1~3,12月	118	NP105 FC2 SF1 PS10	陽性 54 (NP47,PS7) 陰性 64 (NP58,FC2, SF1,PS3)	インフルエンザ A/H3型 インフルエンザ B型 インフルエンザ A/H3型	46 株 (NP46) 1 株 (NP1) 7 件 (PS7)	
咽頭結膜熱	8月	1	FC1	陰性 1 (FC1)			
感染性胃腸炎	1~4,6,7, 9~12月	38	FC37 SF1	陽性 22 (FC22) 陰性 16 (FC15,SF1)	ノロウイルス ロタウイルス コクサッキー A4型 ポリオ 1型 ポリオ 2型 アデノ型別不明 同定不能	10 件 (FC10) 6 件 (FC6) 1 株 (FC1) 1 株 (FC1)* 1 株 (FC1)* 1 件 (FC1) 3 株 (FC3)	
手足口病	6~12月	19	NP17 FC1 SF1	陽性 6 (NP5,FC1) 陰性 13 (NP12,SF1)	コクサッキー A16型 エコー 18 同定不能	3 株 (NP3) 1 株 (FC1) 2 株 (NP2)	
ヘルパンギーナ	5~8月	14	NP13 SF1	陽性 12 (NP12) 陰性 2 (NP1,SF1)	コクサッキー A4型 コクサッキー A2型 ポリオ 3型 同定不能	9 株 (NP9) 1 株 (NP1)* 1 株 (NP1)* 2 株 (NP2)	
麻疹(小児科定点)	5月	1	NP1	陰性 1 (NP1)			
流行性耳下腺炎	4,5,7~9月	5	SF5	陽性 1 (SF1) 陰性 4 (SF4)	同定不能	1 株 (SF1)	
急性脳炎	1,3,4,8,10月	6	SF5 NP1	陰性 6 (SF5,NP1)			
無菌性髄膜炎	4~9,11月	30	SF26 FC4	陽性 7 (SF5,FC2) 陰性 23 (SF21,FC2)	エコー 18型 エコー 7型	5 株 (SF3,FC2) 2 株 (SF2)	
流行性角結膜炎	10月	1	ES1	陰性 1 (ES1)			
その他の疾患	1~12月	72	SF28 FC24 NP16 UR2 EX2	陽性 20 (FC9,SF7, NP4) 陰性 52 (SF21,NP12, FC15,UR2, EX2)	ノロウイルス エコー 18型 エコー 7型 アデノ 3型 コクサッキー A4型 ヘルペス 1型 ポリオ 3型 同定不能	6 件 (FC6) 5 株 (SF4,FC1) 3 株 (SF2,FC1) 1 株 (NP1) 1 株 (NP1) 1 株 (NP1) 1 株 (FC1) 2 株 (SF1,NP1)	

検体数; 305 件

FC:糞便, NP:咽頭ぬぐい液及びうがい液, SF:髄液, ES:結膜ぬぐい液, UR:尿, PS:A^o血清, EX:その他(水疱内容液等)

